

令和5年度事業計画

【基本理念】

利用者の立場に立った良質な福祉サービスを提供するとともに、地域住民との交流・連携を図り、開かれた法人運営に努めます。

【事業運営方針】

サービス体制の充実を図り、利用者満足度の向上に努めます。

【事業運営目標（2023～2025年度）】

- 1 ICTを活用し、業務の改善・効率化を進めます。
- 2 職員のモチベーションを高めるとともに、専門知識・技能の向上を図ります。
- 3 専門学校生や外国人介護士の確保に努め、適正な人員配置を進めます。
- 4 施設設備の計画的な改修・更新を進めます。
- 5 地域との交流事業や地域貢献事業を積極的に進めます。
- 6 事業所間の連携を強化するとともに、新たな事業について検討を進め、経営の安定化を図ります。

【令和5年度事業運営】

令和5年度は、上記事業運営目標について、中期事業計画2023-2025に基づき事業運営を行います。

1 ICTの活用及び業務の改善・効率化

高齢者介護の在宅サービスや障がい者支援の計画・相談業務に係る情報管理等のICT化について検討を進めるとともに、間接業務のペーパーレス化や効率化に取り組みます。

2 職員の資質向上

職員の資質向上を図るため、動画研修の活用や研修の計画的受講、資格取得への支援を行っていきます。また、外部研修を活用し、役職者を対象に部下の育成・指導力やマネジメント能力の育成に取り組みます。

3 職員の確保

令和5年4月の新卒採用者は19名の予定で、うち5名は外国人留学生となっています。令和5年度は、採用実績のある高校、短大、大学、専門学校を中心に採用活動を行うとともに、SNSやブログを活用するなど法人の魅力発信を強化し、新卒採用者の増員に努めます。また、在留資格「特定技能」制度による外国人介護士の受入れの

拡大を図るとともに、外国人介護士を対象とした育成プログラムの作成に取り組みます。

4 施設設備の計画的な改修・更新

感染防止のための改修や施設設備の見直し・更新について検討を進め、優先度を考慮した整備計画を作成し、順次、実施していきます。

5 地域交流の推進

法人施設を活用した地域交流事業の実施に向け、地元自治会等と意見交換を重ねていきます。また、認知症に関する地域住民の理解を深めるため、VR体験会の実施や介護者向けのサロンの開催に向け準備を進めます。

6 事業所間の連携強化

デイサービスのレクリエーションや居宅介護支援事業など、各事業所におけるサービス提供内容の改善に繋げるため、職種ごとの意見交換の場を設置し、法人内の人的交流の促進及び事業所間の連携強化を図ります。

7 グループホームの設置検討

障がい者の地域生活に向けた支援として、グループホームの設置について、ご家族、行政からの強い要望もあることから、設置に向けた調査、検討を進めます。